

“町をよくするために” みんなが募金箱を作ってくれました。



つながり ささえあう
みんなの地域づくり

auPAY で 街頭募金！



49271185_136_1

このQR
コードから
募金が
出来ます。

東村山社協イメージキャラクター ぽんたくん



令和3年度

歳末たすけあい運動


* 実施期間 * 12月1日(水) ~ 31日(金)



【主催】 東京都共同募金会
【実施】 東村山市社会福祉協議会

◆「歳末たすけあい運動」への寄附には、税制上の優遇措置があります。詳しくは社会福祉協議会までお問合せください。

TEL 042-394-6333 FAX 042-393-0411

 soumu@hm-shakyo.or.jp

◆令和2年度 歳末たすけあい運動のご報告

2, 192, 840円



募金は、いったん東京都共同募金会に納められ、令和2年度に事務費、令和3年度に地域福祉活動費としてあらためて配分されました。

◆あなたの気持ちは地域福祉のさらなる充実のために（募金の使いみち）

地域福祉活動助成事業	地域で「高齢者・障害者の支援活動」「子育て支援活動」「介護予防活動」「地域住民のたすけあい活動」「交流活動」などを行う団体に助成します。(12団体に助成)
ふれあい・いきいきサロン運営費助成事業	誰もが集えるサロンを開き、定期的に交流活動を行う団体に助成します。(56カ所に助成)
当事者団体助成事業	障害への理解・福祉の啓発を行うことを目的に、障害者団体等の当事者団体に助成します。(10団体に助成)
小地域福祉活動	各町の福祉協力員会へ活動費の一部を助成します。 (福祉協力員会では、地域住民を対象に交流行事や茶話会、サロン活動、ミニコミ紙の発行、個別支援活動などそれぞれの町ごとに開催しています。) 令和2年度はコロナウイルス感染症の影響で思うような活動は出来ませんでしたが、工夫を凝らし、つながりを絶やさないよう、サロン参加者の安否確認や情報発信などを行いました。
活動拠点整備事業	栄町にある拠点「ふれあいスペース“いっぷく”」を運営することで、市民活動を支援します。(いっぷくでは、例年サロン活動やコミュニティカフェ、講座などを開催しています。)
第5次地域福祉活動計画推進事業	通称 WE^{LOVE}東村山プラン (2018～2023年)は、地域の支え合いを進めるための仕組みを皆でつくる計画です。 今年度は、サロン活動団体に活動に関するアンケート調査を行い、「コロナ禍でも人とつながるヒントブック～コロナ禍でもサロン等の地域活動をすすめるために～」を発行したり、ボランティアチルドレン(登録したボランティア活動を行う子どもたち)のマスクづくりなど地域を応援する活動に取り組み、計画を進めてきました。

※コロナウイルス感染症の影響で、例年のような活動は難しい状況ですが、感染対策を行いながら、人と人のつながりを絶やさないよう、地域福祉活動を進めてきました。これからも大切な募金を地域福祉活動推進のために役立てます。

～ありがとうメッセージ～

★ふれあいいきいきサロン運営費助成活用団体★

～傾聴・聞き書きボランティア和みさんの「カフェ和み」活動より～

☆聞き書きとは、語り手の人生に耳を傾け、話し言葉で綴り、思い出の写真などを挿入してオンラインの冊子を作る活動です。大切なお話を聞かせて下さったお礼にその冊子を語り手の方にプレゼントしています。気軽に立ち寄ってお喋りを楽しんだり、聞き書きの活動場所として”カフェ和み”を運営しており、その運営資金や聞き書き冊子作製の費用などを助成金から捻出させてもらっています。

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、カフェを休止する期間もありましたが、その間は「和み通信」を発行して配布したり、返信封筒を同封して「ひと言聞き書き」の原稿を集め、ひと言聞き書き集「星に願いを」と「逢いたい」を作成、配布することができました。今後も繋がりを広げ、深めるさまざまな手段を模索しながら、スタッフもワクワクする活動を続けて行きたいと思っています。

